



2022年8月9日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 デ イ ト ナ  
代 表 者 代 表 取 締 役 社 長 織 田 哲 司  
( 証 券 コー ド 7228、 東 証 ス タ ン ダ ー ド 市 場 )  
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 杉 村 靖 彦  
( T E L 0538 - 84 - 2200 )

### 配当政策の基本方針の変更と配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年8月9日開催の取締役会において、下記のとおり配当政策の基本方針を変更することを決議いたしました。またこの変更により2022年12月期の1株当たり配当予想についても修正を決議いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 変更理由

当社は、これまで配当政策について、デイトナ単体の個別業績等を基準として決定してまいりましたが、近年では連結子会社数の増加もあり、子会社の連結業績への影響度合いも高まりつつあります。今後もM&A等の投資を含めグループ企業全体での成長を推進する方針であることと、連結財務諸表が中心である決算開示情報との整合性も踏まえ、連結業績を基準とする配当政策に変更することといたしました。

##### 2. 変更内容

###### ( 変更前の方針 )

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しております。安定的な経営基盤の強化並びに今後の事業展開に備えるために内部留保の充実を図りながら、自己資本利益率の向上に努めると共に、配当につきましては、期末配当(年1回)の安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。剰余金の配当の決定機関は、株主総会であります。

なお、当社は中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

- (1) デイトナ個別の経営成績に連動した配当方針とします。
- (2) 配当性向25%(自己株式数を含む)を目標といたします。
- (3) 利益水準を勘案した上、安定配当部分として原則1株あたり最低年間配当

7.5 円を維持するものいたします。

(変更後の方針)

当社は、株主に対する利益還元を経営の最重要課題の一つとして認識しております。一方で経営理念の実現に向けて、既存事業および新規事業への投資など持続的な成長を実現する財務基盤の確立も大変重要であると考えており、利益還元につきましては、連結業績の内容、今後の事業投資の見込、過年度の投資回収の状況などを総合的に勘案して決定していく方針です。

よって、上記方針に沿って現状を総合的に勘案し、利益還元については、連結配当性向 20%を目安に配当を実施することいたします。

なお、剰余金の配当の決定機関は株主総会であり、期末配当(年1回)の実施を基本としております。

3. 変更の時期

2022 年 12 月期の期末配当より適用いたします。

4. 配当予想の修正

	年間配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2022 年 2 月 10 日公表)		75 円 00 銭	75 円 00 銭
今回修正予想		115 円 00 銭	115 円 00 銭
当期実績	0 円 00 銭		
前期実績 (2021 年 12 月期)	0 円 00 銭	80 円 00 銭 (普通配当 70 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)	80 円 00 銭 (普通配当 70 円 00 銭) (記念配当 10 円 00 銭)

以上